

町議会・議員の活動報告

岩瀬地方議員協議会視察研修／平成30年11月6日・7日

鏡石町と天栄村で構成する岩瀬地方町村議会議員協議会（天栄村・廣瀬和吉議長が会長）視察研修は、11月6日（火）・7日（水）千葉県木更津市において実施されました。

木更津市では、「DBO方式による道の駅整備」について道の駅「木更津 うまくたの里」を視察研修しました。

※DBO方式とは・・・Design Build Operateの略。資金調達は自治体が行い、①設計、②建設、③維持管理・運営の各業務を包括的に事業者に委託する方式

木更津市は千葉県の玄関口として、東京湾アクアラインの影響により観光客の増加、地域全体としては、人口の減少化が進むものの、当市は唯一増加傾向にあります。

農家人口の減少、あさり・海苔等水産業の衰退、観光資源に乏しいことなどが、道の駅整備に至った背景にあり、事業手法を比較検討し、DBO方式（公設民営）により整備することとし、平成29年10月開業し出店者は259名（市内60%、市外40%）初年度の売り上げは、7.9億円、集客数は65万人／年（1,760人／日）であります。

当日も大勢の買い物客が来場され、道の駅事業の成功例として、参考となりました。



木更津市職員より事業概要説明



買い物客で賑わう道の駅 うまくたの里

県選出国會議員要望活動／平成30年11月29日

11月29日（木）東京都永田町、衆議院第一・第二、参議院議員会館にて、福島県選出国會議員（衆議院議員7名、参議院議員3名）に対し、5事業について要望書を提出し要望（陳情）活動を実施いたしました。

当日は、議員本人と面会できた3議員（その他は秘書対応）に対しては、直接要望書を手渡し、鏡石町の現状を訴えました。

要望事項は、以下のとおりです。

- 1 自治体財政支援について
 - 1-1 地方交付税の増額と早期交付について
 - 1-2 水道施設再構築に伴う補助事業の要件緩和並びに地域再生基盤強化交付金事業の拡大及び石綿セメント管更新事業に係る補助事業の恒久化と新たな交付金事業の創設について
 - 1-3 社会資本整備総合交付金の財源確保と配分率の拡大について
- 2 モニタリングポストの継続配置について
- 3 一般国道4号鏡石町区間の4車線整備の促進について
- 4 鏡石スマートインターチェンジ車種制限の拡大について
- 5 土地改良事業における地元負担の軽減と早期事業の着手について



森まさこ参議院議員へ



玄葉光一郎衆議院議員へ



増子輝彦参議院議員へ

今年度の

各常任委員会所管事務調査報告

～議会の活性化に目を向けて～

総務文教常任委員会研修

平成30年度総務文教常任委員会（木原秀男委員長）の所管事務調査は10月29日（月）・30日（火）、山形県川西町と宮城県川崎町において実施しました。

今回の視察研修の主なテーマについては、空家バンクの運用についてや、移住定住促進事業について視察調査しました。

川西町では、東日本大震災直後の平成23年から空家バンクを創設し、ホームページには、空家物件の一覧を掲載し、修繕の有無など画像で閲覧でき



川西町議会と意見交換



川崎町役場にて意見交換

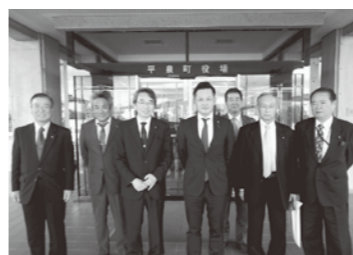
きるよう配慮したり、一人の専門スタッフを常駐させ、対応の速さで問い合わせが増えたそうです。川崎町では、笹谷トンネルや東北横断自動車道が開通し、仙台市内、山形県内への交通の便をアピールし、農業体験や移住者交流会、空家見学会ツアーなど年数回開催しています。

産業厚生常任委員会研修

平成30年度産業厚生常任委員会（古川文雄委員長）の所管事務調査は10月30日（火）・31日（水）、岩手県平泉町と宮城県大河原町において実施しました。

今回の視察研修の主なテーマについては、水道事業の料金改定の手法（資産維持費導入）と子育て支援施設の充実について視察調査しました。

平泉町では、資産維持費の原価参入により、給水収益前年比10%増、純損益大幅増、企業債の借り入れを抑制することが



平泉町役場にて意見交換

でき、結果として水道使用料の増額抑制につながったことなど参考となりました。大河原町では、子育て支援施設の一つとして、「世代交流いきいきプラザ」という施設があり、児童クラブ、子育て支援センター、元氣サロンを有しており、複合型福祉機能を兼ねており、災害時の防災拠点機能も備えた充実した施設でありました。



世代交流いきいきプラザを視察